2020年6月9日

NEA事務局

**NEA主催 英会話集客学習会(塾と教育 共催) 実施報告**

**●　日時、講師、参加人数**

　　[第3回] 6月2日(火) 11：00～12：15　㈱AICエデュケーション AIC Kids様

　　[第4回] 6月3日(水) 11：00～12：05　産経オンライン英会話様

　　[第5回] 6月4日(木) 11：00～12：30　㈱スタディラボ様

　　59社、89名参加(全3回総数)　※すべてZoomにて開催

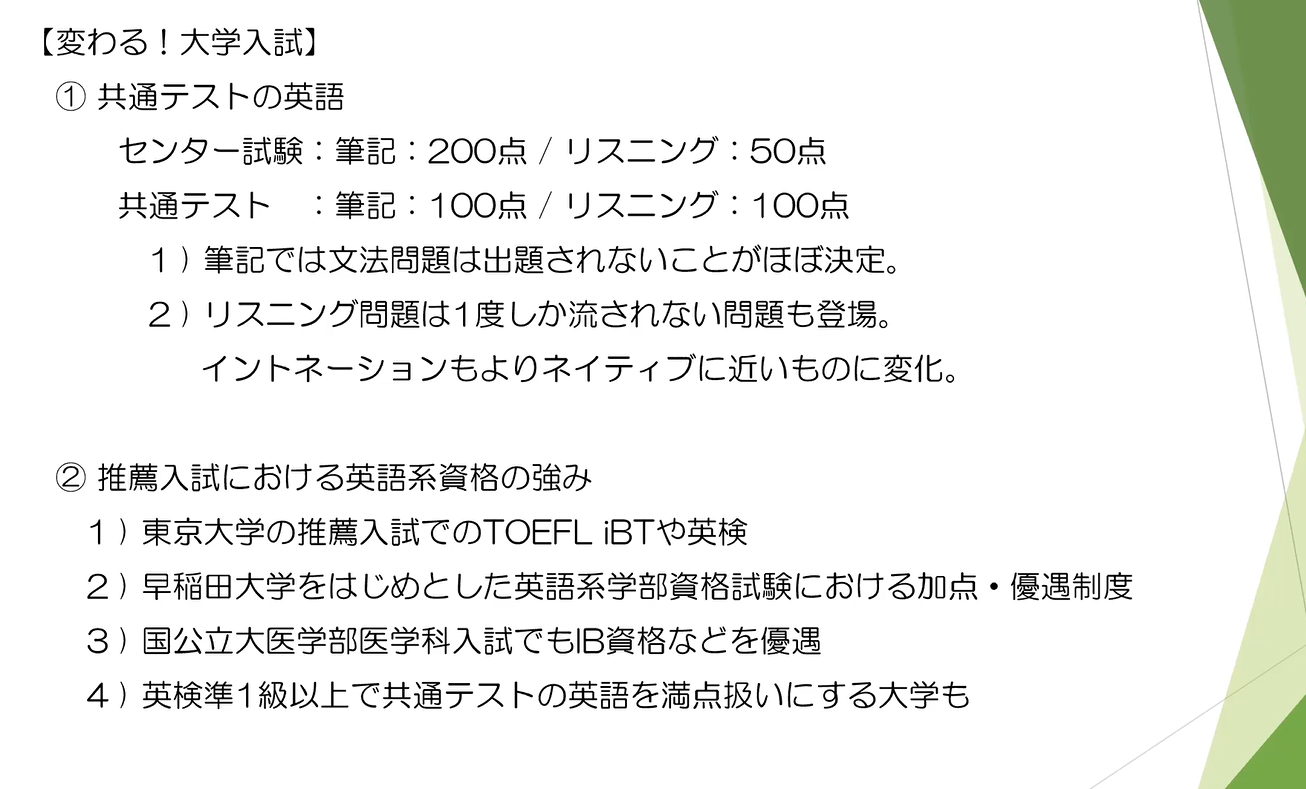
**●　概要**

**AICエデュケーション様**

**『最新の大学入試動向を見据えた4技能英語学習取り組み法』**

大学入試改革が進む中、英会話の重要性が高まっていることを、入試制度の特徴や学生の体験談を基に説明された。大学入学共通テストではリーディングとリスニングの配点が100点ずつの均等配点になるなどの大きな変更点について確認し、高校在学中に英語系資格の取得を進めることが入試だけでなく、大学へ入ってからも留学における学内選考等で優位となることを事例と共に紹介された。

また、中学英語では現高2内容までを学ぶ形であることを説明された。中学・高校の英語教師の英語力等の課題もありオールイングリッシュ授業の導入が進んでいない現状にも触れ、4技能を用意している塾が生徒の英語力にどのように協力していくかが、将来の英語力や進路決定に大きく関わることを強く訴えた。



**産経オンライン英会話様**

**『お手間をかけずに集客拡大！貴塾のブランド力を活かしたオンライン展開』**

・インターネット接続機器があればすぐに始められること

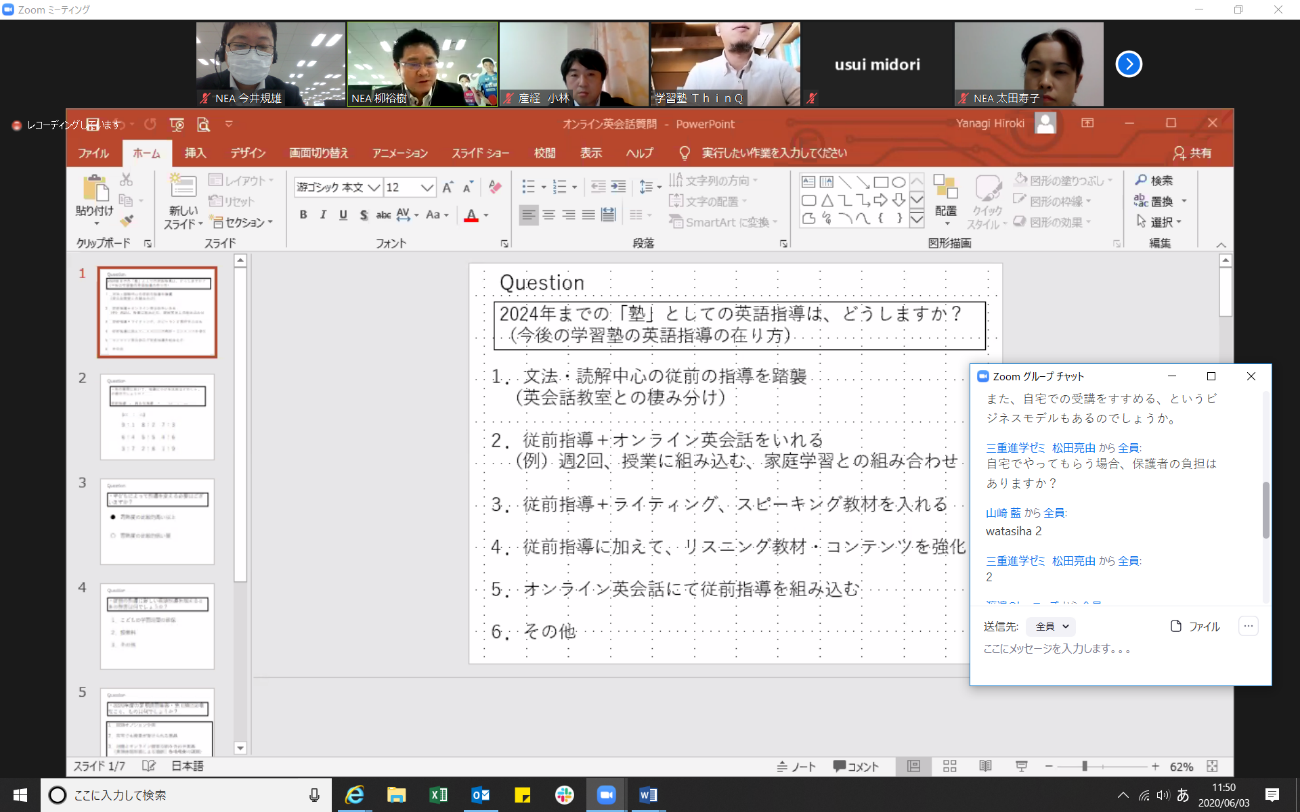
・最少催行人数がないこと

・5：00～25：00の時間帯で利用いただけること

これら利点により塾内利用はもちろん家庭内でも学習できる点を説明された。

また、テキスト一体型のソフトを使用しているのでプリントアウトする必要がない点、レベルと目的に合わせたテキストを選定可能で、日常英会話やビジネス英会話、教科書準拠学習、英検対策など1,200種類のテキストから自由に選定できる点を紹介し、多様なコンテンツを手軽に利用できる点について動画を用いて紹介された。

後半は参加者による意見交換会を開催。今後の英語指導の在り方については、従前の指導に加えてオンライン英会話またはライティング・スピーキング教材を取り入れたいという意見が多く見受けられた。同時に、従前の指導に加える際には子どもの学習時間の確保や英語教育の必要性を小学生保護者にどこまで伝えられるのか課題であるなどの意見も寄せられた。



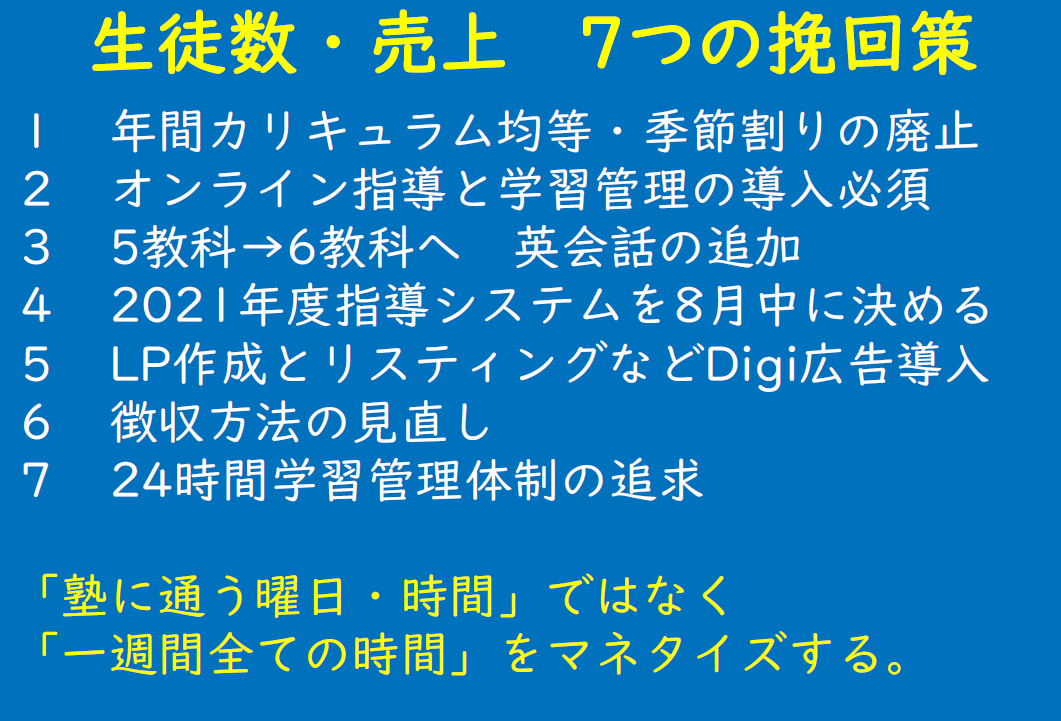
**スタディラボ様**

**『夏期売上確保・生徒数増へ向けた新指導システムの提案』**

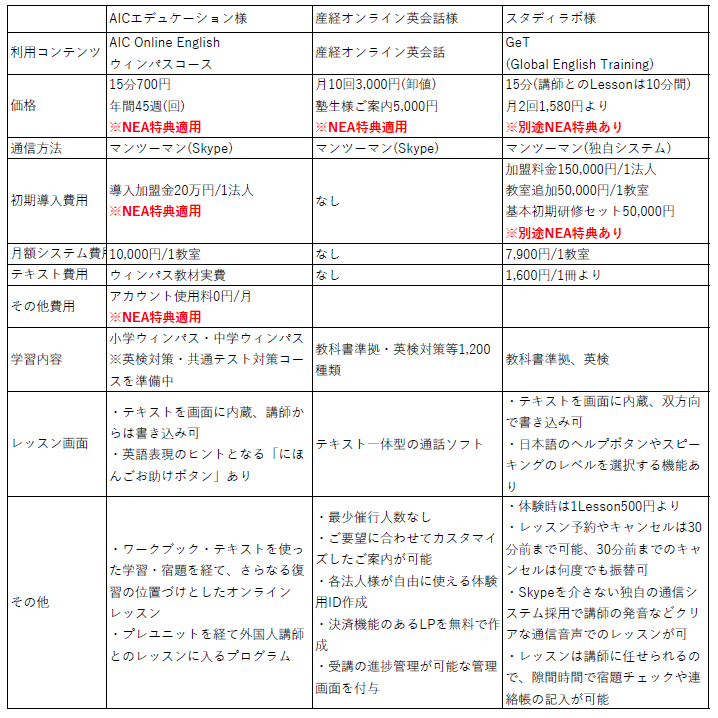
生徒数減・売上減へ対応するために必要な考え方の軸として、学習塾の「ニューノーマル」を紹介された。入試改革やコロナ禍によるお客様の経済的状況により、学習塾の役割や価格設定が今後大きなポイントになる。これまでは夕方から夜、決まった曜日・時間、即ち限られた部分について月謝をいただいてきたが、今後は24時間全体を課金していくという考え方が重要になる。どんな学びを提供するか、子どもたちの好奇心をどう喚起し管理するか、塾の進化が求められていると説明された。

生き残るために見直すべき指標として、資金繰り表・損益計算書・売上の3点を紹介された。売上の究極は入塾と退塾でしかない、ここを押さえて既存のお客様に徹底的に向き合うべきであることを強く訴えた。

また、生徒数・売上の挽回策についても紹介し、季節講習に頼りがちなカリキュラムからの脱却や、2021年度指導システムを早期に決定しお客様へ刷り込んでいくことの大切さ、24時間学習管理体制の追求などについて説明された。



**●　各社商品の特徴**



**●　まとめ（NEA事務局より）**

　ICT技術の革新とともに、場所や時間を選ばず学ぶことができるオンライン学習コンテンツは続々と増えています。特にオンライン英会話は講師の指導技術向上はもちろんのこと、通信の安定性向上による音声認識精度向上で近年飛躍的に成長しています。

　教育改革が始まる2020年、オンライン英会話などの活用をいかにしていくかがポイントになる可能性もございます。

自宅や近所の学習塾でネイティヴ講師によるマンツーマンレッスンが受けられる環境が実現した今、オンライン英会話は他の様々なお稽古事と同等の通いやすさ・続けやすさを持つようになり、家庭にも受け入れやすくなっています。学習塾専用の充実したカリキュラム、お試ししやすい手軽さが魅力、レッスン調整の多用さなど、異なる3社の特徴を確認ください。学習塾ならではの英会話・英語の学力向上を追求いただきたく存じます。

以上